

[2020.08.28]

証券コード：4392 東証一部／福証本則

2020年12月期 第2四半期 決算補足資料



2Q決算のポイント

情報通信事業は前年比プラス、装置等関連事業の苦戦により赤字決算

- 情報通信事業は売上高・利益面ともに前年比プラスで着地
- 苦戦が続く装置等関連事業は、米中貿易摩擦の長期化に加えて新型コロナウイルス感染症拡大の影響により赤字幅が拡大、本格的な回復は来期以降となる見込み
- 期末業績予想を下方修正
売上高は下方修正ながら初の100億円達成見込み、装置等関連事業の苦戦により営業損益は0百万円の見込み

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

- 先行きは不透明なものの、ストック型ビジネスへの変化を加速してきたため、ストックビジネスには大きな影響は出ていない
- 情報通信事業は、主要顧客のうち、タクシー・バス・ホテルの事業者が需要減少の影響を受けていることから、新規設備投資の見直し等によりフロービジネスには影響が出る可能性がある
※新たなIoTサービスの開発や柔軟なプライシングによりストックビジネス化をすすめていく方針
- 装置等関連事業については、主力の自動車関連において設備投資計画の見直しによる受注の期ズレや価格競争の影響を受けている
※5GやAI、IoTなど需要が見込まれる装置等の受注にも積極的に取り組んでいる

業績ハイライト

単位：百万円／下段は売上比

	2019年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	前年比	
			増減額	増減率
売上高	4,711 (100.0%)	5,067 (100.0%)	+ 355	+ 7.6%
売上総利益	1,182 (25.1%)	1,136 (22.4%)	△46	△3.9%
販売費及び一般管理費	1,027 (21.8%)	1,261 (24.9%)	+ 234	+ 22.9%
営業利益	155 (3.3%)	△125 (△2.5%)	△281	—
経常利益	188 (4.0%)	△102 (△2.0%)	△290	—
親会社株主に帰属する当期 (四半期) 純利益	104 (2.2%)	△202 (△4.0%)	△307	—

損益計算書（四半期累計）

単位：百万円／下段は売上比

	2019年12月期				2020年12月期			
	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計
売上高	2,704 (100.0%)	4,711 (100.0%)	6,799 (100.0%)	9,504 (100.0%)	2,518 (100.0%)	5,067 (100.0%)	—	—
売上総利益	734 (27.2%)	1,182 (25.1%)	1,628 (23.9%)	2,232 (23.5%)	580 (23.1%)	1,136 (22.4%)	—	—
営業利益	224 (8.3%)	155 (3.3%)	97 (1.4%)	47 (0.5%)	△60 (△2.4%)	△125 (△2.5%)	—	—
経常利益	232 (8.6%)	188 (4.0%)	129 (1.9%)	73 (0.8%)	△37 (△1.5%)	△102 (△2.0%)	—	—
親会社株主に帰属 する当期（四半 期）純利益	167 (6.2%)	104 (2.2%)	40 (0.6%)	52 (0.6%)	△166 (△6.6%)	△202 (△4.0%)	—	—

セグメント別業績

単位：百万円

	2019年12月期					2020年12月期					前年比（2Q累計）	
	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q累計	1Q	2Q	3Q	4Q	2Q累計	増減額	増減率
売上高	2,704	2,006	2,088	2,705	9,504	2,518	2,548	—	—	5,067	+355	% +7.6
情報通信事業	1,244	986	1,134	1,591	4,955	1,597	1,483	—	—	3,081	+851	% +38.2
装置等関連事業	1,460	1,020	953	1,113	4,548	920	1,064	—	—	1,985	△495	% △20.0

単位：百万円

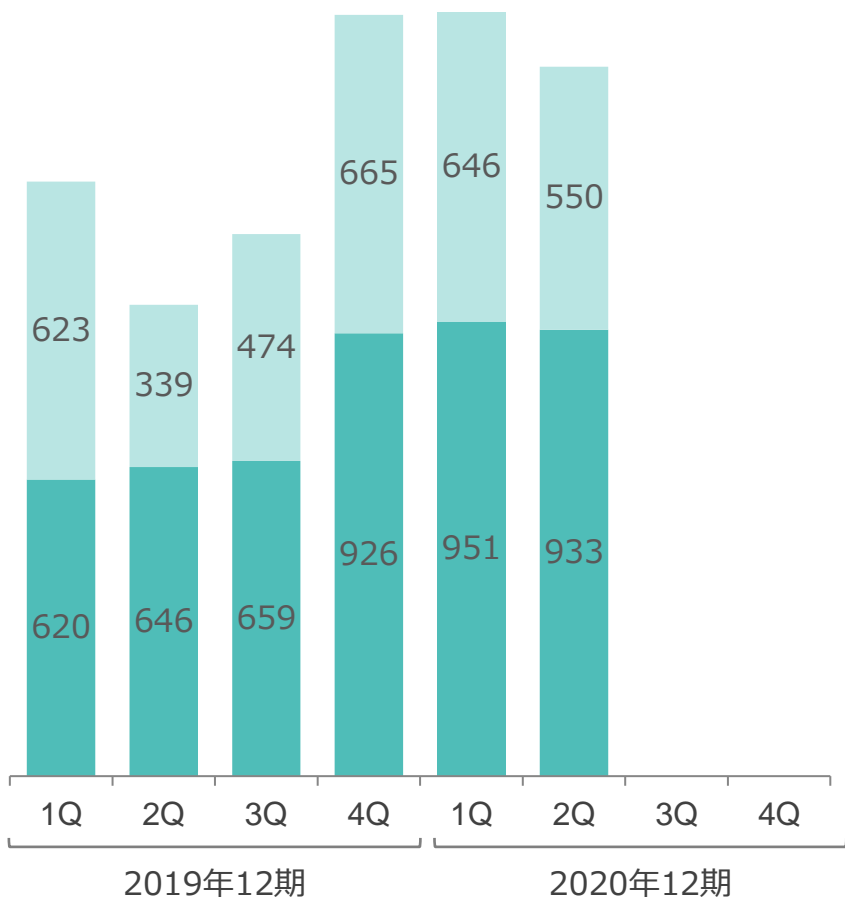
	2019年12月期					2020年12月期					前年比（2Q累計）	
	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q累計	1Q	2Q	3Q	4Q	2Q累計	増減額	増減率
営業利益	224	△68	△58	△49	47	△60	△65	—	—	△125	△281	—
情報通信事業	157	46	124	△3	325	179	157	—	—	337	+132	% +64.7
装置等関連事業	148	△4	△71	91	162	△114	△115	—	—	△230	△373	—
調整額	△81	△110	△110	△137	△441	△124	△107	—	—	△232	△39	—

売上高の四半期別推移

情報通信事業

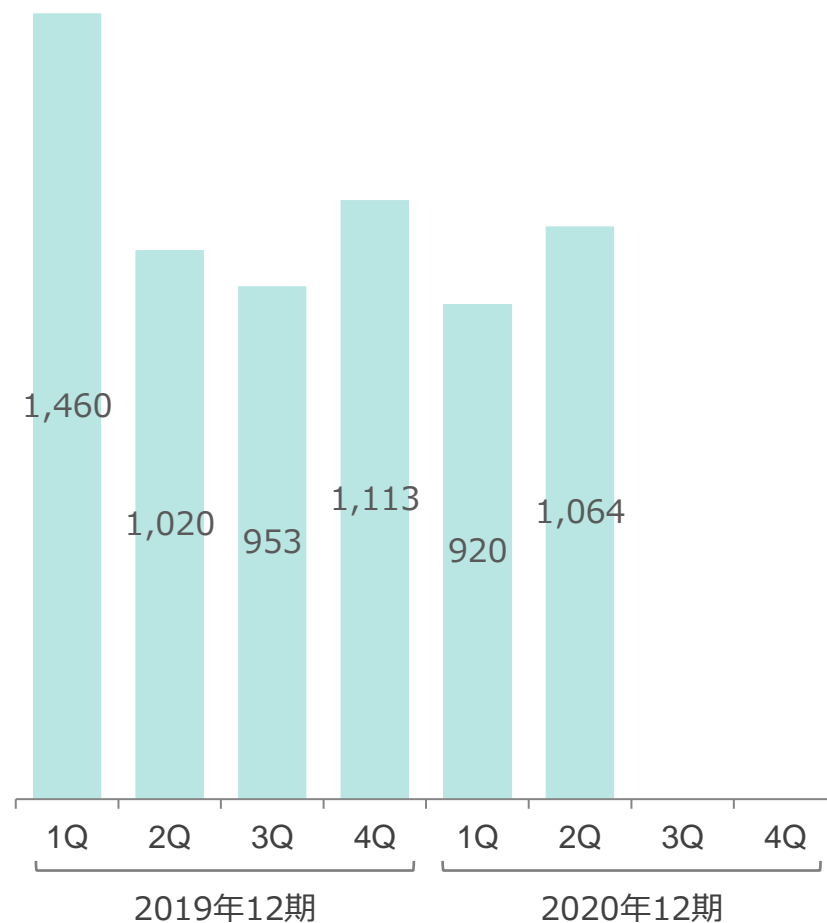
(単位:百万円)

- フロービジネス
- ストックビジネス



装置等関連事業

(単位:百万円)



貸借対照表

単位：百万円／下段は構成比

	2019年12月期末	2020年12月期2Q		主な増減
			増減額	
流動資産	8,450 (64.1%)	8,679 (65.2%)	+ 229	現金及び預金 △239 リース投資資産 +220 たな卸資産 +359
固定資産	4,726 (35.9%)	4,642 (34.8%)	△84	のれん +197 投資有価証券 △305
資産合計	13,177 (100%)	13,321 (100%)	+ 144	
流動負債	2,796 (21.2%)	3,346 (25.1%)	+ 549	支払手形及び買掛金 +453 短期借入金 +226 未払消費税等 △148
固定負債	2,378 (18.0%)	2,306 (17.3%)	△71	
負債合計	5,175 (39.3%)	5,653 (42.4%)	+ 478	
純資産	8,002 (60.7%)	7,668 (57.6%)	△333	利益剰余金 △346
負債・純資産合計	13,177 (100%)	13,321 (100%)	+ 144	

2020年12月期通期計画

単位：百万円／下段は売上比

	2020年12月期 2Q実績	2020年12月期通期計画			
		期初計画 2020/2/14公表	修正計画 2020/8/7公表	前回公表差	2Q進捗率 (修正計画)
売上高	5,067 (100.0%)	11,000 (100.0%)	10,000 (100.0%)	△1,000	50.7%
売上総利益	1,136 (22.4%)	3,337 (30.3%)	—	—	—
営業利益	△125 (△2.5%)	500 (4.5%)	0 (—)	△500	—
経常利益	△102 (△2.0%)	492 (4.5%)	0 (—)	△492	—
親会社株主に帰属 する当期（四半 期）純利益	△202 (△4.0%)	306 (2.8%)	0 (—)	△306	—



【 連絡先 】 F I G株式会社 社長室
【 住 所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。